

第13回 高原地区街づくり協議会 議事録 (要旨)	
開催日時	平成31年3月26日(火) 18:30~20:00
開催場所	高原地域振興館 多目的室
出席委員	12名
欠席委員	内田委員・前嶋委員・井手委員・植村委員
事務局	藤本理事・岡本公室長・総合政策課:岩田・藤田 まなび推進課:高山課長(関係課)
議事内容	
<p>1. 開 会 -18:30-</p> <p>2. 市長挨拶</p> <p>3. 議 事</p> <p>(1)暮らし・子育てに関する事業について</p> <p>・公共交通について</p> <p>奈良交通の路線バスとコミュニティバスの路線を融合させた輸送案を事務局から説明</p> <p>会 長</p> <p>奈良交通とよく協議する必要はあるが、今後の福住の公共交通を無理なく維持し、中山間のコミバスを守っていくことを考えれば、コミバスと奈良交通の路線を混ぜて考える案を地元とも相談をしていくことが大切。</p> <p>事務局</p> <p>ダイヤ等にもいろいろな諸課題がありすぐに実施するとはいかないが、実施に向けて協議をしていきたい。</p> <p>会 長</p> <p>資料もない中での説明になったが、公共交通はタウンミーティング等でもご要望を頂く。いつまでも市は考えないという訳ではないというところをお示したかったが、既存の路線が走っている地域のみなさんのご理解が得られる前に福住地域の役員の皆さんなどにご相談してしまうとどちらが先なのかという話になりかねない。ご理解をいただければと思う。</p> <p>また、前回委員様から地域も汗をかいていかなければというご意見を頂いた。市でも全国事例等を見て、一つのアイデアとして京丹後での支えあい交通をご紹介したい。</p> <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元NPOが中心となって公共交通を運営している制度 ・既存の乗合希望のマッチングシステム(UVER)を利用 ・交通空白地帯の有償運行の事例であり福住で直接導入できるものではないが、地域で公共 	

交通を考えていく中で参考になる事例として見て頂ければ。

会 長

現在でも何かの用時の折に善意で近所の方に乗せていただいたりするかもしれないが、それで対価をお支払いするとなれば違法タクシーになってしまうという問題がある。支えあい交通では地元NPOが運営する事業であるため、タクシーより安い料金できちんと対価を支払って支えあいながら利用できる。コミュニティバスで賄いきれない部分を補完する手段として有効ではないかと考えている。ただ、地元で主体になっていただく方が必要であり、有志の方でやってみたいという方がいれば一緒に先進地と見に行くなどといったことも考えていきたい。矢継ぎ早ではあるが、ご意見等あればお伺いしたい。

委 員

人材を募集すれば、これから地域のために協力したいという人が出てくるかもしれないし、可能性はあるかと思う。車両についても、やすらぎ園や光明苑の車を空いている時間に使わせていただけると聞いたことがある。

会 長

その辺りについては櫛本で奈良東病院さんが巡回バスに取り組んでいただいている。現状やすらぎ園さんも光明苑さんもそこまでの体制を整えるのは難しいということで聞かせて頂いているが、何らかの協力のご意向は持っていただいているので、例えば支えあい交通を地元で進めていただく中でドライバーさんとして登録していただいて、空いている時間に協力していただくとか、そういったことは可能だと思う。

委 員

バスの時間の関係で、コスモス分団の子どもたちの通学が大変だと聞いたことがある。コミュニティバスとスクールバスの運行ダイヤを調整して一緒に運んでくることはできないか。

事務局

再編する中で、運行時間を通学時間に合わせるということは可能。ただ、下りる子どもたちと上る子どもたちがいるので、調整も必要になる。

会 長

福住内でも高校通学等で下へ降りていく子どもたちがいる。今まで家族が車で送っていったのを、福住発のバスにすればバス通学が可能になる。ただ、上がる下るどちらもという話になると難しいものがある。

事務局

今のところバスの運行台数を増やすことはできないので、みなさんの通院や買い物等の生活の時間と、バス会社の運行規約や法律の問題とを勘案して、バス一台でうまく動かせる方法を検討していきたい。

会 長

ニーズに対して、仮に統合するならこういったダイヤの案があるというのを市でも一度整理させて頂きたい。朝、下から上がる需要と上から下りる需要とをどれだけ両立できるかということもある。その他ご質問やご意見があればどうぞ。

委員

私も高原に家はあるが、行き来は自家用車であることが多い。高原地区でコミュニティバスやデマンドタクシーの需要というのはどのくらい、どういった時間にどんな方が利用されるものなのか。

会長

デマンドはよくご利用いただいているが、コミバスについてはまだここまで来ていない。我々が考えていることは、今活発にご活動いただいている70代後半の方々がこれから5年後、80代になられたときに今と同じような動きを皆さんができるとは限らない。こういった場合に5年後に動き出したとしても手遅れになってしまう。今のこの瞬間のためではなく中期的な人口流出防止も見据えて、31～32年度には先手を打って動きが取れるようにしていきたい。

委員

大学生は場所によっては引っ越すこともあるかと思うが、高校生はどうしているのか。

委員

どこまで行くかにもよるが、6時45分か50分、大体7時前には家を出て、家族が天理駅まで送っていていると思う。

会長

8時30分に学校につくことを考えて、大体1時間少くくらい天理駅からの時間を見ている計算ですね。それならば県内は大体通えるのではないかと。

委員

そういう場合、お勤めの方で天理まで車で乗っていかれる方も乗せていただければいいかと思うが。

会長

先ほどの支えあい交通などと併用ができればそういったことも可能なので、出来れば重層的な体制を取っていきたいと考えている。今後本格的な検討に入っていく。今のうちにご協議しておいたほうがいいという要素がございましたら、どうぞ。

委員

動きが読めないところはあるが、朝こちらを出発して子どもたちを乗せていき、帰りにコスモス分団の子どもたちを乗せてくるという動きをしてもらえればいいと思う。

事務局

車両定員の問題もある。現行市内で運行している大型の車両であれば20数名乗ることができるのでそれも可能かと思うが、それを山間に運行させるとなるとまたお金がかかる。

会長

あまり朝早くからであれば、その分夜が早くもなる。何時から動き出せるかなど、要検討とさせていただきます。

委員

子どもは少ないとは思いますが、この地域の親としては先ほど意見があったように7時前に子どもを駅まで連れて行ってもらえるならとても楽だろうと思う。

委員

昔は山田までバスが来ていたがなくなってしまった。先ほどの話でもあったが、朝は子どもの通学と一緒に下りる人もいるとして、帰りはどうするのかなという思いがある。

会長

行き帰りどちらかでバスを使い、もう片方を迎えに来てもらうという例も聞いている。その辺も留意しながら進めていきたいと思う。

・小規模特認校制度の現状について

- ・福住小学校の特色ある教育（少人数教育、ICT 英会話教育、地域学習など）の現状
- ・今年度の生徒数・特認校実績の報告と次年度の予定について、事務局より報告
- ・平成32年度に卒業する特認校生については、中学校への延長を認める予定

会長

福住の学校環境を維持するには、特認校が欠かせなくなっている。この点ボランティアの見守り等頂いている皆様にも深く感謝申し上げたい。特認校生の中学への進学も対応するということと、せっかくの小規模校ですので、市内で先駆けて小中の連携推進を進めていきたい。英語では今の時点でもある程度連携を図れていると聞いているが、より踏み込んで、小中まとめて一年生から九年生くらいの感覚で進めていけるくらいに考えていますので、またよろしくお願いたします。

委員

小中一貫教育といったようなことも聞いているが。

会長

そうです。それも一つの福住の魅力にできればと考えている。また学校とも相談していきたい。

委員

教育というのは移住・定住を考える上でも重要。英語などの取組は聞いているが、もっと福住だからできるというものを考えられたらいいのではないかと。最近はAIなども発達してきているが、コンピューターではできないような学びのカリキュラムがここではできるとあれば、これからの教育を考えている若い世代には響くのではないかとと思う。

会長

またこういうものがあるといった事例などもご紹介いただければ。保護者の立場として積極的なご意見をいただければと思う。

委員

お話にもあったが、この自然の中だからできる教育というのに可能性を感じる。地域に開かれた学校というのをキーワードにできればと思う。今森のようちえんでは園舎もなく活動しているが、他の地域ではようちえんから中学校まで新しい形の学校ができたりしていて、その地域に移住して通わせたいという方も増えている。福住でも森のようちえんを通じて移住して来てくれる方にそのまま地域内で進学してもらえるように、協力させていただけることがあればぜひ一緒に取り組んでいきたい。

会長

一緒に付加価値を高めていければと思う。福住ならではの魅力ということでお話が続いたが、いかがか。

委員

移住・定住を考えたときに、年齢層が高い方が自然の中で余生をとという場合と、若い世代が自然の中で子育てをとという場合があるが、子どものためという世代の方の熱意は高いものがある。森のようちえんから特認校、小中一貫校というのが繋がって、この自然豊かな高原で子育てができますよ、というのを売りにしていくと定住に繋がっていく可能性はあると思う。

会長

全部を一から積み上げていくというのはなかなか大変である一方、地域でも様々な取り組みが進んでいる。今来つつある流れをうまく地域の活動に結び付けていければと思うので、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

・高原地域振興館について

- ・キッズサロンの活動状況について
- ・地域振興イベントについて
- ・森のようちえんによる活動の紹介

森のようちえん 岡本さん

昨年12月から、高原地域振興館の敷地を借りて週に一回活動している。次の4月からは木曜日と金曜日に利用させて頂く予定。もともと外での活動が中心だが、振興館の敷地の中だけでなく、校区をお散歩させていただいて地域の人とも交流できればと思っている。

これまで桜井と明日香にフィールドを借りて実施していたが、拠点探しをする中でご縁があり、こちらで探すことになった。自然を求めているいろいろと活動していたが、吉野や明日香などの南部にばかり目が向いてしまい、天理にこんな素敵なフィールドがあるとは知らなかった。こちらに来て子どもたちだけでなく保護者のみなさんにも大変好評をいただいている。今後暮

らしも含めて、みんなで共にできるような活動をしていければと思っている。

保護者の中に6組くらいこちらに越して来たいと言っている家庭があるが、その中に小学生の兄弟がいる家庭がある。家が見つければ小学生の子はこちらに転入して、未就学の子は森のようちえんで活動するという形になると思う。またどうぞよろしく願いいたします。

会 長

全国的に森のようちえんの活動が広がる中、奈良では先進的に岡本さんをはじめとするみなさんが活動されているが、福住に6組のご家族が引っ越してくるとするのはこれまでの協議会では画期的な話だと思っている。私としてはぜひこの機会を逃すべきではないと考えている。現状長滝などで移住先の候補が出てきているが、まだまだもう少し欲しいところ。

岡本さん

現状賃貸で住みたいという方と、買いたいという方と、土地が欲しいという方と、いろいろな希望があり、また皆様にお知恵をお借りできればと思う。

会 長

買って住むというのは私のようなパターンだが、それだけ投資する分買っていただいた方が定着性は高いのかなと思う。個人のご都合などはあるが、こうして福住に来たいという方がいるということで皆様にご協力を頂きながら進めていきたいと考えている。

また、先日も福住のお城のツアーに皆様ご参加いただいたということだが、活動のフィールドの方は足りているでしょうか。

岡本さん

活動の中で、火を使って自分たちの昼食を作ったりしていることがあり、火を使える場所を探している。ご厚意で山をお借りできても水場の確保の問題もあり、さすがに火を使ってもいいと仰っていただけるかは難しい。山田のキャンプ場が使えれば一番ありがたい。

会 長

キャンプ場に必要性を感じておられるということであれば持ち帰りたい。幼稚園は園庭であれば使っていただける。どうでしょうか、みなさまお持ちの山ですと、やはり火おこしは山火事の心配があるでしょうか。

委 員

火の使い方の問題だと思う。水の有無に関わらず我々も木や草を燃やすことはあり、燃やし方というものがある。枯草や落ち葉をきちんと取り除くなどの必要な作法をマスターしていただけるのであればいけるのではないかな。

会 長

要は延焼対策がきちんとできているかということだと。

委 員

そうですね。それが出来ているのであれば貸すことに問題はないと思う。

会 長

今までの対応というのはどうだったのでしょうか。

岡本さん

今までは山の持ち主さんのルールに従っていた。ご自身でかまどを作ってもらったり場所を利用したり、自分たちでレンガでかまどを作らせてもらったりして、場所を定めて火を使っていたのでそれほど危なくはなかったのではないかと思います。そうした場所を提供していただき、かまどを作らせて頂くのを許して頂ければありがたい。

会 長

今は心配が先に来て、なかなか具体的なお話に進んでいかないだけではないかと思う。固定観念かもしれないが、私も含めて今まで町にいた人間がやってきて火を使うと聞くと、きちんと火を使えるのか、処理の仕方を知っているのかなど、大丈夫かなというのがまず最初に来る。実際にみなさんがどのように火を使おうとしているのか、どれくらい使えるのかという具体的なイメージが共有されていないのが原因で、こういう使い方であれば使ってもいいのではないかという形にまで進んでいないという状況のように見える。であれば、こういう形で使いたいというのがもっと具体的にお伝えできればいいのではないか。また、リスク管理についても整理の必要はあると思うが、もしこういった場所を使いたいというご希望があれば校区のみなさんや区長の方々にこういったご希望があるんですが、というお話もさせて頂けると思うので、一緒にできる方法を考えてみましょう。

委 員

野焼きでも少し火を使えば消防署から指導が来る。広く活動できるような場所に心当たりもあるのでまた紹介したい。

会 長

野焼きではなく野外活動という理解だが、仰っていただいた場所を使うことが出来れば何よりだ。私としては、移住者がたくさん来ていただける可能性があるということが校区にとっても大きな意味があると思う。是非ともご協力をお願いしたい。

・移動販売について

- ・1月29日から開始した高原エリアの移動販売について、実績を報告
- ・近所の方と集まり会話する機会にもなり、コミュニケーション促進につながっている

会 長

移動販売はせっかく皆さんがお集まりいただく機会なので、今後はプラスアルファの要素を付け加えられないかと考えている。各販売所での販売時間が短く、時間が後ろ倒しになることがあり、待っていただく事も多いので、少し前から集まっていた方に健康講座をするなどの皆さんの交流機会を作り、その間に販売車が来るというような形にできれば、単なる移動販売だけではない付加価値が生まれると思う。

これは校区にもご検討いただきたいのですが、区長さんの中でうちの集会所を使ってもらって構わないと仰っていただけたところがあれば、毎回は難しいだろうが、うちから保健師を派遣して健康講座をするなどもできる。移動販売としてはいい形でスタートできたので、そこに買い物プラスアルファをつけていきたいと思うが、いかがだろうか。

委員

公民館ならばいいが、販売所に休憩スペースのないところもある。集まってちょっとトイレに行ったり休憩したりということが出来る場所ならばいいと思う。人付き合いも大事なので、買い物と集まったみんなのくつろぎとを合わせて、うまくやっていけばいいのではないか。今はとにかく待ち時間が長い。喜んでくれていても、待ちくたびれて帰ることもあった。

会長

どこかで実験はしたい。講座もいいが、極端に言えばみんなで少し前に来てラジオ体操をしよう決めていただくのもいい。誰かがおしゃべりの際にラジオ体操を流して、体をうごかすようにするというだけでもきっかけづくりとしては効果がある。面倒な準備等で行く気がなくなってしまうはいけないので、大層なものをする必要はない。どうせ待つなら、くらいの感覚で気軽に始めて頂ければ嬉しいと思う。

委員

私は下入田2の地区なのだが、確かに遅れたりはあるものだいたいみんな時間通りに集まっている。こんな料理を作るとか、こうしたらおいしいといった料理の話も出るし、販売が終わってもいろいろおしゃべりをしたりする場になっている。なかなか顔を見ない方もこの時は出て来てくれたりして、どうしているのかといった話が弾むので、いい集まりの場になっている。

会長

焦るつもりはないのだが、まずはそういったいい雰囲気というのを定着させていって、年度のどこかでそういう動きがぽつぽつと出てくればいいと思うので、念頭に置いておいていただければありがたい。

委員

今日もちょうどその日だったが、みなさんコミュニケーションを取りながら楽しそうに待っていた。

会長

最近では寒いので大変だと思うが、温かくなればますますお話ししながら待つのも楽しくなるのではないか。今のところ南部とも変わらない売り上げを上げておりまして、南部の方も驚いておられる。事業を続けるのにまず大切なことは売れることなので、皆様よろしくお願い致します。

・移住定住促進について

- ・次年度の方針について、都市圏へのプロモーションから地域でのコミュニティづくりに重点を移しながら進めていく旨報告
- ・高原地域への移住者でもある奈良移住計画の中島さんの協力のもと事業を進める予定

中島さん

現状は森のようちえんさんのお話もあり移り住みたいという声が出ているが、一方で空き家はあるが貸せない、売れないといった状況になっている。これに対して、私をはじめとした移住者が、ずっとここで生きてきた地元の方と一緒に地域のことを知っていくことによって、これから移住を考えている方が地域の中で安心して受け入れられるような体制を作っていこうと考えている。そのためには空き家の情報を集めることも大切ですし、家主の方にご理解を頂いて、地域のためになるならこの人に貸してもいいよと言っただけのような形に繋げていける取組をしていきたいと考えている。

会 長

また校区の方でもご理解を頂きたいと思いますが、これは市の委託事業として中島さんに代表して動いて頂くというもので、決して勝手に動いてらっしゃる訳ではありません。このコミュニティづくりというのも中島さんにお任せする中で、街づくり協議会の分科会的な位置づけで、みなさんのご意見も伺いつつやっていければと思う。

これまでは都市部のフェアに出展したりして説明もさせて頂いたが、ではそれがどれだけ実際の移住に繋がったかと言えばほとんどなく、という状況だった。一方で今森のようちえんさんなど、高原地域に移ってきたいと市の空き家バンクに登録されている方は15名もいらっしゃる。ただその15名が地域に受け入れられるかといえばまだ不安感はあると思うので、そういった部分の橋渡しをできるグループを作る第一歩にできればと思う。

また動き始める段階で区長会等にもご説明に上がらせていただく。どうぞよろしく願いいたします。

・高原地区まちづくり基本計画の策定について

- ・基本計画の位置づけについて説明
- ・地区の課題に対応する、今後の取り組み事業の概要を説明

会 長

だいたい今日議題に出ているものを計画の形にまとめていると思っていただければと思う。今日は奈良土木の木村所長にもお越しいただいておりますが、これから国道25号の整備事業を進めていただけるということもあり、その上でも県市が連携しているというのは非常に大事になってくる。そちらもぜひご理解をいただければと思う。

また後程でも結構ですのでご清覧頂き、これは今頑張っているから盛り込んだ方

がよいのではというようなものがあれば総合政策課までご提言いただければ。

・地域交流事業について

小野原委員

3年前からの懸念事項でもあった氷室の屋根の葺き替えを先月末に無事完了いたしました。これに対しては校区区長をはじめ市からも助成をいただき、ご協力をいただきました。綺麗に葺きあがっておりますので、ぜひご覧になってください。

会 長

夏の氷まつりの際には、みなさんにもきれいになった氷室を見て頂けると思う。

続いて薪イベントということで、これは地元の皆様のご理解を頂いて一度試しにやってみようと思っただけです。私の家では薪ストーブを入れておまして、小野原さんはじめ皆さんにご協力を頂いて今年の薪を確保したのですが、来年の薪に関しては山から切り出して斧でたたき割るところまでやって今干しているところ。これをやっているときに思ったのが、こういうこともお金をかけずに交流イベントにできるということ。

実際にお金をかけずにやってみたのが、山の管理で雑木を切りたいという地域の方と、薪ストーブを使いたいという地域外の方を募集して集めてくるというもので、それで木を切って薪を作ったので、山の持ち主の方にとってはタダできれいになったね、来られた方はタダで薪が手に入ったねと、両方にとって喜んで頂けるものになったのではないかと考えている。

来年の冬にも同じ活動を続けていければと思っている。今回もいろいろな方にご参加いただいたが、こういうことが続いていくと県南部だけでなく大和高原、福住の里山や自然の魅力の発信に繋がると思っている。地域の資源を生かして地域のためになるきっかけかとも思うので、環境団体等を巻き込みながら今後もこれを広めていきたい。どうぞよろしくお願いいたします。

その他、皆様が進めて頂いている取組で漏れ落ちているものなどございましたらご発言を頂ければと思うが、いかがか。直近では城跡のハイキングなども実施頂いたが、もしご参加された方でご感想などあればどうぞ。

岡本さん

地元の方もたくさん来られていて、すごいなと思った。私もいろいろなところで地域の活動や行事に参加するが、地域外の方は来られても地元の方が参加されることがあまりなかった。交流にもなるととてもよかったし、散策しながら天理の自然を見せていたので、またいろんな方に来ていただければと思う。

委 員

地元の方でも知らない、上ったことがないという人は多い。山道も上りにくかったのを、今回ボランティアで整備してくれた。

会 長

意外に校区内でも近すぎて行ったことがなかったという方が多いのではないかと思います。朝和・柳本・櫛本では校区ウォークというものがあり、山の辺も去年始まったが、これをきっかけに福住でもそういった動き始めて頂ければと思う。

その他来年度に向けてでも、進めて頂いているものなどがあれば、どうぞ。

委員

5月19日に、また山田の農地保全会で田植え体験を行います。よろしくお願いします。

委員

薪イベントについてですが、そこそこ太い木があるということでしょうか。少し前にCMにもなっていたスウェーデントーチ、丸太に切り込みを入れて点火してトーチとして上で鍋などが炊けるものがある。森のようちえんさんも据え付けのかまどではなくそういったものを使用されてもいいのではないかと。

会長

今回の薪イベントは初めてということもあり、食事なども一切なくひたすら薪を切っていた。吉野の林業家に見て頂いて大きな木を切って頂いたりもしたが、何か食べる要素などあればよかったと思う。地域で活動されている方の中には同じように薪のイベントを実施されているようなので、うちの山を切ってもいいという方がおられたら大募集をしております。

委員

木を切ってもらおうというのもありたいが、鳥獣害対策というのが一番の悩みの種だ。

会長

その辺りはまた来年度に集中捕獲もさせて頂こうと思っている。

そういったことも含めて、今出たお話の一つ一つが福住の魅力が詰まったコンテンツになる。それを繋いでいくコミュニティというのが先ほどの中島さんの話にも繋がっていくと思うので、またどうぞよろしくお願いいたします。

今年度の締めくくりの会となったが、来年度もまたこの地域の暮らしをしっかりと元気にしていくために取り組んでいきたいと思うので、よろしくお願いを申し上げて閉会としたい。

5. 閉会 - 20:00 -